

環境配慮型製品の さらなる国際展開に向けて

意見交換

1. 各業界団体・製品分野における国際展開の動向、国際展開に向けた取組

- 業界団体・製品分野全体における国際動向

例

- ASEANの特定の国に向けたプロモーションを強化している。
- EU諸国からアジアへの製品輸出が進んでいる。
- 製品の品質に関するISO規格の策定や見直しが検討されている。
- 毎年ASEAN地域で開催される展示会に日本からも出展している。
- 海外での市場拡大に向けた戦略、課題
- 海外展開を推進するための要件

- 環境配慮型製品の国際動向

例

- アメリカで化学物質に関する新しい規制が始まっている。
- 環境配慮型製品の普及に向けた優遇策が検討されている。
- 海外の国の業界団体と環境配慮型製品の普及に関する会合を持った。

参考) 昨年度の会合で出されたご意見 (抜粋)

- 相互認証における基準の調和、基準への適合を示すための書類や申請資料の整合性を推進してほしい。
- 企業が基準作成委員や環境団体と直接オープンに議論できる国際的な枠組みを構築してほしい。
- 各国の認証機関による、それぞれの監査に代わる共通監査制度の導入を検討してほしい。
- 基準策定における日本の影響力の発揮を期待したい。
- 日本からの輸出は筆記具が中心で、市場としてはアメリカが大きい。
- 一部の高機能の椅子等、特定の商品は欧米に輸出されている。全体の1%程度。
- 太陽光発電システムの国内市場が小さく、輸出に重点を置いていたが、現在は国内市場で国の支援があるため、ほとんど輸出をしていない。
- 化学繊維の場合は機能性で押さなければならず、新興国市場への参入には関心があるが、環境機能については反応が薄い。
- 文房具の紙製フラットファイルの紙の部分でブルーエンジェルを取得している。
- 現地法人を通じて情報を入手している。

意見交換

2. 海外の動向の情報収集・把握

- 今後の日本で開催する国際シンポジウムの開催の方向性について(テーマ・スピーカー、地域・情報の内容等)

例

(テーマ)

- UNEP等を中心としたGPP/SPPに関する国際会議の内容
- ASEAN地域等における環境ラベル、グリーン公共調達の実施状況
- SDGsやパリ協定等の動向とGPP/SPPへの波及効果

(スピーカー)

- UNEP等の担当者
- 各国の政府機関(GPPの政策担当者)
- タイプ I 環境ラベルの運営団体
- 各国でグリーン購入を推進するための活動団体(各国GPN等)

3. 自由討議

- 環境配慮型製品の国際展開に向けた課題
- 相手国(ASEAN諸国等)でのニーズの把握 他

参考)

2015年「世界のグリーン公共調達と環境ラベルの最新動向」

- 日本のグリーン公共調達と環境ラベル 現状と課題 – 東京大学大学院
- 製品のホットスポット分析 – 産業技術総合研究所
- **EU**のグリーン公共調達政策
- 「ブルーエンジェル」とグリーン公共調達のための環境基準 – ドイツ連邦環境庁
- タイのグリーン公共調達 – タイ公害監視局
- 韓国のグリーン公共調達と教訓 – 韓国環境産業技術院
- 中国環境ラベルとグリーン公共調達 – 中環連合環境認証センター有限公司

2014年「ASEAN地域における持続可能な消費と生産に向けたグリーン公共調達と環境ラベル」

- 日本のグリーン公共調達／環境ラベルの現状と国際貢献 – 東京都市大学
- 世界におけるGPP 及び環境ラベルの取組と制度調和への動き – **UNEP**
- インドネシアのグリーン公共調達と環境ラベル – インドネシア環境省
- マレーシアのグリーン公共調達と環境ラベル – エネルギー・グリーンテクノロジー・水道省
- フィリピンのグリーン公共調達と環境ラベル – フィリピン環境保護および持続可能な発展センター
- シンガポールのグリーン公共調達と環境ラベル – シンガポール環境協議会
- タイのグリーン公共調達と環境ラベル – タイ環境研究所
- ベトナムのグリーン公共調達と環境ラベル – 天然資源環境省